



揖斐川建第112号
平成19年4月24日

国土交通省道路局長
宮田 年耕 殿

岐阜県 揖斐川町長
宗 官 孝 生



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

国道企第114号 (平成19年4月2日付け) にて依頼のありました標記
につきまして、別紙の通り回答します。

◇ 当町は、市町村合併により広大な町域となったことから、山間部に点在する集落への連絡道路、すなわち生活道路であり、生命維持道路としての重要な道路が多く存在する。これらの道路は、行き止まり道路が多く、近年頻発する局地豪雨や発生が想定される大規模地震の際に、被災し通行途絶となった場合の対応を危惧している。

そのため、

- 一、 山間地の迂回路のない道路についての防災・耐震対策の強化・推進。
 - 二、 行き止まり道路の解消を図る道路整備。
 - 三、 山間地域における国道から市町村道、農林道を含めた道路ネットワーク整備への強力な支援。
 - 四、 積雪期の除雪の費用的な困難さから冬期間に迂回路を閉鎖せざるを得ないことから、迂回路線の除雪への支援。
- が必要である。

◇ 当町は、県際（県境）に位置することから、隣県と接続する幹線道路が通過している。これらの道路は、中部圏と北陸圏・近畿圏を直結する主要ルートと位置づけられる。さらに、これらは敦賀市付近の道路交通の隘路（北陸自動車道、国道8号）の被災時などには、迂回路としての機能を受け持つことも想定される。しかし、県境付近をはじめ区間内には、未だ不通区間や未改良区間が存在し、物流や観光を担う大型車の通行が困難となっている。

そのため、

- 一、 国道303号八草峠BPの早期開通（中期計画前期）。
- 二、 国道303号（仮称）新横山橋の早期開通（中期計画前期）。
- 三、 国道417号冠山峠道路の整備促進、早期開通（中期計画前期）。
- 四、 国道417号岡島橋の架け替え早期完成（中期計画前期）。
- 五、 国道303号揖斐川町～大野町間の中期計画での整備着手。
- 六、 国道303号横山ダム湖沿岸区間（揖斐川町坂内坂本～横山ダム）の中期計画での整備着手。
- 七、 国道417号横山ダム湖沿岸区間（揖斐川町鶴見～東横山）の中期計画での整備着手。
- 八、 高速道路ICアクセスを担う地方道路整備の促進。

が必要である。

◇ 当町は、町道整備に一般財源の多くを投入しているにもかかわらず、中央においては道路特定財源の余剰が大きく叫ばれている。これは、地方都市と大都市との道路整備状況に対する認識の違いに他ならない。さらに、日本経済の大動脈を形成する高速道路網（マクロな道路ネットワーク）は着実に整備される反面、地域経済や地域社会を支える毛細血管となる地域道路網（ミクロな道路ネットワーク）は整備が立ち遅れている。

そのため、

一、 地方における道路整備の遅れ・必要性についての国民に対するもっと強力なPR。

二、 地方財源化のより一層の推進。

が必要である。